

沓中合唱練習ガイドライン ～互いに気持ちよく歌えるようにするために～

- ① 生徒の距離は前後約 2 m 以上、左右斜め約 1 m（片手間隔）を確保し、生徒同士が向かい合う配置は避ける。
- ② 指揮者・伴奏者・教師と生徒との距離は、適切な距離を確保する。
- ③ 座っている生徒と立っている生徒が混在しないようにする。
- ④ 咳エチケットを必ず心掛ける。（他人に向けて咳をしない、飛沫ができる限り少なくするよう心掛ける）
- ⑤ マスクは飛沫拡散防止の効果があるため、着用する。
- ⑥ 身体的な接触をしないように注意する。もし、接触した場合は、必ず練習後に手洗いをする。
- ⑦ 楽譜やプリント類の共有を避ける。
- ⑧ CDデッキ 1 台につき一桁の人数（9 人）までとする。
- ⑨ CDデッキと CD-R を必ず大切に扱うこと。CDデッキを操作する担当者を事前に決めておくこと。
- ⑩ パート練習は必ず横に並び、窓や壁に向かって歌う。

※ 窓締め切った空間で練習しない。連続して 4 5 分以上練習しない。

※ 対面になる状況はつくらない。できる限り 1 列に並ぶ。2 列以上になる場合はジグザグに並ぶか、重な場合は、前後 2 メートル以上あける。（他人の頭に息が直接かからないようにする）

- ⑪ 練習中は、不要な会話をしない。
- ⑫ 全員合唱は、体育館・和敬館・音楽室・外のみとする。教室内では、CDデッキ 3 台分までの合唱とする。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策については、全日本合唱連盟ガイドライン参照